

二五四六番

思はぬに 至らば妹が 嬉しみと 笑まむ眉引き  
思ほゆるかも

二五四七番

かくばかり 恋ひむものそと 思はねば 妹が  
手本を まかぬ夜もありき

二五四八番

かくだにも 我は恋ひなむ 玉梓の 君が使ひを  
待ちやかかねてむ

二五四九番

妹に恋ひ 我が泣く涙 しきたへの 木枕通り  
袖さへ濡れぬ